

## 会長に就任して



プラスチック成形加工学会  
会長 金井俊孝\*

この度、第12代会長に就任しました金井です。(社)プラスチック成形加工学会も設立から約22年が経過しました。設立当初はこの分野の学会が大きく育ち、学術的な討論や技術的な交流の場になれるかどうか心配されていましたが、22年経った今、歴代会長、理事、各部門の委員や会員各位の方々に支えられ、この分野に携わっている多くの研究者や技術者にとって、非常に有益な情報の発信源や交流の場になっています。年次大会、秋季シンポジウム、AWPP国際会議の3大行事の他、各種企画講演会、技術交流会、教育講座、夏季セミナー、多くの専門委員会、支部活動などの企画行事や月刊誌“成形加工”の発刊、さらにインターネットによる情報発信も開始され、今後も会員の方々に多くの情報や交流の場を提供していきたいと思っております。

会長の在任期間中に、次の5項目に重点を置いて、学会の運営に微力ながら努力していきたいと思っております。

### 1. 会員サービスの向上と会員数の拡大

正会員・学生会員に入会しても、会員としてのメリットが少ないという話を聞きます。そこで、会員サービス向上を図り、会員数の増加を図っていきたくと思っています。

その一環として、会員のみがアクセスできるホームページを充実させたいと思っております。つまり年次大会・秋季シンポジウム・国際会議AWPPの要旨や掲載、学会誌“成形加工”の内容を掲載し、検索機能を付与することにより情報の共有化を図りたいと思っております。

### 2. 新規分野を取り入れた領域拡大と財務体質の強化

学会も設立22年が過ぎ、安定した活動ができるようになって来ています。また、厳しい経済状況でも、学会参加者は安定しています。

しかし、今後の運営活動を考えた場合、学会の財政基盤が必ずしも十分であるとは言えません。会員数の拡大や成形加工に関連する分野の領域をもう少し広げる必要があります。高分子材料や高分子加工の領域拡大のため、新たに医療用高分子材料、高機能化のための二次加工・コーティング、CO<sub>2</sub>排出削減のための次世代電池・太陽電池、LED分野・PLA材料、プラスチックの高機能化材料や新規加工技術などの領域も積極的に扱い、日本の将来に大きな成長が見込める領域を積極的に年次大会の特別セッションや企画行事に盛り込んでいきたいと思っております。

また、財務体制の基盤を確固たるものにするため、領域拡大、会員数増加、財務部門の理事や委員を増やし、体制の充実を図ります。

### 3. 国際化に向けたアジア地区での国際会議の充実とネットワークの確立

これからはアジアの時代と言われています。アジア圏内の国際会議であるAsian Workshop on Polymer Processing (AWPP)の着実な実行と、今後アジアの成形加工に携わる方々、大学、学協会、企業の研究者との人脈を形成し、ネットワーク(人材バンクリスト)を充実させ、日本と主催国だけでなく、多くの国々が参加できる国際会議の開催と、それによる人的交流を図りたいと思っております。

### 4. 世界に発信する学会誌“成形加工”

学会誌“成形加工”に掲載されている論文をもっと充実させたいと思っております。成形加工分野の優良な文献は必ずしも成形加工に投稿されていない現状があります。

その1つの理由は和文の投稿がほとんどで、国際化されていないのが現状です。そのため、国内研究者からインパクトのある文献は投稿されにくく、海外から見た場合は魅力に乏しいこと、投稿が郵送のみのため、海外から投稿しにくいなどが挙げられます。

本学会はアジア地区の国際学会(AWPP)を10年近く開催していますので、まず手始めにAWPPで発表された優秀な論文を雑誌“成形加工”に投稿してもらうよう勧誘し、学会誌“成形加工”の国際化および論文数の充実を図りたいと思っております。

すでに実施されている論文のカラー化の特徴を生かし、年次大会や秋季シンポジウムで発表された論文の勧誘や電子投稿システムの構築を進めていきたいと思っております。

### 5. 新公益法人化法案に対する確実な法人化移行対応

学会として、2013年11月末までに、新公益法人化法案に対応し、プラスチック成形加工学会も学会の規模や目的にあった法人化への移行の選択とその着実な移行への対応が必要になってきています。そこで、在任期間の2年間でその移行業務に関する着実な遂行を行ってまいります。

以上、5項目の他に関西支部、東北・北海道支部に加え、新たな支部の設置への検討や会員同士が自由に討論できる専門委員会の活発な活動の奨励など、プラスチック成形加工学会の発展に寄与すべく努力したいと考えておりますので、会員皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

\* Kanai, Toshitaka  
出光興産(株) 機能材料研究所  
市原市姉崎海岸 1-1 (〒299 0193)  
2010.7.1 受理